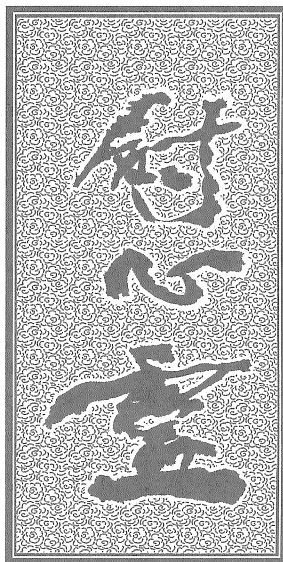




靖國神社の梅林・右手前は守護憲兵之碑

梅花二題

立春ともなれば、さすがに各地の花



題字揮毫・故 瀬島龍三氏

第 17 号

財団法人 大東亜戦争全戦没者
慰霊団体協議会

〒105-0014 港区芝2-5-19
TAビル4階

電話 03 (5730) 0421
FAX 03 (5730) 0422

http://homepage2.nifty.com/ireikyuu
振替口座 00140-6-334930

編集人 飯田正能
発行人 柚木文夫
印刷所 ヨシダ印刷株式会社

目次

梅花二題	1
国立追悼施設建設を憂える	4
東京都の「慰霊堂」と「戦没者霊苑」	
そして、靖國神社の「慰霊の泉」	6
寅年の新年を迎え、第三世代の青年に 期待する―シベリア鎮魂慰霊祭に 捧げる追悼のことば―	10
遺烈	12
事務局からの報告等	14
協議会参加各団体の本年度慰霊行事予定	15

の便りも聞かれるようになってきた。このごろは人工的に栽培される花が多く、四季の移ろいは、都会ではなかなか実感できにくくなってきた。それでも、家の周りの木々にもどこことなく春めかしさが感じられるようになり、小鳥の囀りにも何となく明るさが甦ってくるようである。

初春の花と言えば、何と云っても梅花であろう。梅花は百花に先立って咲くが故に「花の兄」とも言われる。謡曲「難波」に「それ大方の春の花、木の盛りは多けれども、花の中にも始めなれば、梅花を花の兄ともいへり」とある。因みに、その弟を、漢詩では水仙と見立てているものが多いようである。

梅花は春に先立って咲くが故に、時には枝に降り積もる雪とのコントラストで一層詩情をそそるものがある。更にまた、その馥郁たる香りは、正に早

春の香りである。かつて新潟に在勤した折、これこそ新潟の幻の酒と言われ「雪中梅」なる地酒を頂いたことがあったが、上越の雪深い山里の雪水で醸造された銘酒の味はまた格別で、その名もピッタリの感があった。

雪中の梅には、凜として身の引き締まるような雄々しさと春を告げる温かさや可憐さを感じられる。ましてやその芳香故に、雪国の人ならずとも春到来の喜びを人々の心に甦らせるのである。梅の枝に降り積もる雪を「香雪」ともいう。雪中の梅にはそのような風情がある。

謡曲「難波」の「梅が枝に、来いる鶯春かけて、鳴けども雪は、ふるき鼓に」とあるのは、勅撰・古今和歌集の「梅が枝に来居る鶯春かけて鳴けども未だ雪は降りつ、」（読人不知）よりの引き歌であるが、万葉集にも「梅が枝に鳴きて移ろふうぐいすの羽しろた

へに沫雪ぞ降る」（卷十春雑歌）などとあって、古歌にも早春の雪と梅を詠んだものが結構多い。

総じて梅花を詠んだ古歌は大層多く、万葉集だけでも百首に余り、古今和歌集、拾遺集、千載集、新古今和歌集等に収録されている梅歌は枚挙にいとまがないほどである。その中でも、「梅に」と言えば鶯。花札ではないが、「梅に鶯」は切っても切れない間柄にあり、春の美景、春の心ともいえるべき日本人の美意識であると思われる。

鶯は、低山帯から高山帯の灌木林に至るまで広く繁殖し、冬は低地に移り、市街地にも現れる。したがって、早春から初夏にかけて人里近くの林野に多く飛び交い、その美しい金緑の舞姿と鳴声で人々を魅了し、人の心の琴線を震わせるものがある。

鶯ほど異名の多い鳥も少ない。春鳥、春告鳥、花見鳥、歌詠鳥、経よみ鳥、

句鳥、人來鳥、百千鳥、黄鳥、遷喬な
どなど。

ところで、鶯は果たして梅花を特に
好むのであろうか。我が家の近くには、
幸いにも農家の梅園や公園の梅林が多
い。紅梅、白梅、紅白の枝垂れ梅と様々
に咲き競うのであるが、鶯の姿は余り
見掛けたことがない。付近の雑木林や
竹林などで、その美しい声を聞くこと
は結構多いのだが、梅林で目立つ小鳥
は、雀や目白や椋鳥である。殊に目白
は姿形が鶯にそっくりである。鳴き声
を聞かなければ、遠目には鶯かと思ふ
うことがある。また、椋鳥などは、花
蕊まで食べてしまうので、梅の実がな
らないと農家の人がこぼしているのを
聞いたことがある。しかし、現実には梅
の枝に鶯が止まることが少ないとして
も、「梅に鶯」は春の美景であり、日
本人の美意識の構図なのである。ここ
ろが、中国では、唐詩選の昔から春の
美景の構図は、「柳に鶯」というのが
非常に多い。風土の違いもあつてか湖
畔あるいは江岸の枝垂れ柳の緑を縫つ
て飛び交う鶯の姿が、中国の詩人の心
の琴線を震わせるのであろうか。代表
的なものを一つ挙げると、「柳柳鶯鶯
花復殷 紅亭緑酒送君還(柳は柳れ鶯
は嬌びて花復殷なり 紅亭緑酒君が還
るを送る)」とある。唐詩選の岑参の

作で、同僚の李司馬が官職を辞して扶
風に帰るに際しての送別の詩の一節で、
「柳は枝垂れ、鶯は美しく鳴き、そし
て花は盛りと咲き誇っている。この日
赤く飾られた駅亭の、緑の酒を酌み交
わして、扶風へ帰る君の門出を送る。」
という意味である。

また、張養浩の詩に「柳岸鶯梭巧織
藍」の句があるが、これは柳の経糸に
鶯が梭となつて緯糸を通し、青い春の
布を織るという美的感覚を表したのも
である。こういった中国人の美意識は、
漢詩を通して我が国に早くから伝えら
れ、日本人はこれをよく咀嚼し、更に
繊細な美的感覚で、これを昇華してき
たものと思う。

万葉集(卷十春雑歌)にも「柳と鶯」
の構図の歌として「春がすみ流るるな
へに青柳の枝くひ持ちて鶯鳴くも」な
ど数首が見受けられるが、何と言つて
も謡曲「杜若」と「熊野」に同じ文句
で出てくる次の句が「柳と鶯」の美的
構図の圧巻とも言えるのではなからう
か。「花前に蝶舞ふ紛々たる雪、柳上
に鶯飛ぶ片々たる金」(意訳すれば、
花より花に舞う蝶は、雪のひらひら降
る如く、柳の枝を飛びちがう、翼黄色
の鶯は、黄金の片の飛ぶごとし、であ
る。)

「梅と鶯」の構図と「柳と鶯」の構

図を比較して、いずれが佳なりや優な
りやと論ずるのは野暮なことであろう。
それぞれの国ぶりであり、文化とい
うものであろうか。

古来、梅花にまつる故事は多い。
中でも有名なのは、「鶯宿梅」と「飛
梅」に関する故事であろう。「鶯宿梅」
については、大方御存じのとおり、謡
曲「東北」の中に「梅の名は好文木、
又は鶯宿梅などこそ申すべけれ」と
あり、そのうち「好文木」については、
謡曲「老松」にそのいわれを述べた文
句があり、鎌倉中期(1252年作)
の説話集「十訓抄」にも「帝文を好み
給ひければ開き、学問怠り給へば散り
しをける梅は有りける。好文木とぞ
いひける。」とある。一方、「鶯宿梅」
については、同じ「十訓抄」のほか平
安中期白河院のころの成立と言われる
歴史物語「大鏡」(文徳天皇から後一条
天皇まで14代176年間の記事を紀伝
体にし、藤原道長の権勢を叙述する。)
にも記述されているが、村上天皇の御
代(平安中期、946〜967年)、

はその梅を返したという故事により、
その梅を「鶯宿梅」と言ったとのこと
である。前出の勅撰・拾遺集に、「家
の女」の歌として収録されているもの
であるが、紀貫之の娘で、後宮の諸礼
式や事務をつかさどつた内侍司に奉仕
した女官として、また、平安中期の歌
人、才女として名を遺した紀内侍の作
と伝えられる。

清涼殿の梅が枯れたので、天皇は、紀
貫之の娘(紀内侍)の庭の紅梅を移植
させたところ、娘が「勅なればいと
畏し鶯の宿はと問はばいかか答へん」
との歌を書いた短冊を添えて奉つたの
で、鶯がさぞ嘆くだろうと言われ、天皇

この「鶯宿梅」は、今も京都御所近
くの「相国寺」の塔頭「林光寺」の庭
にあるとのことであるが、相国寺は、
臨済宗相国寺派の本山で、山号は万年
山、京都五山の第二であつて、138
3年足利義満の建立であり、村上天皇
の時代とは四百数十年の開きがある。
一方、私の郷里福岡県(県の花も梅で
ある。)の太宰府市にある天満宮社前
の、菅公ゆかりの「飛梅」(東風吹か
ば匂ひおこせよ梅の花主なしとて春を
忘るな(道真)―拾遺集・大鏡、謡曲
「東北」花も主を慕ふかと、年年色香
もいやましに)も何代目かを称して
いるが、「鶯宿梅」のゆかりも似たよ
うなものであろうか。ただ、「飛梅」
は白梅であるが、「鶯宿梅」は紅梅の
変種で、五色を誇る名木とかで、現物
を見た友人の話では、花卉の紅白の斑、
花蕊の黄、苞の紫、若枝の緑などが交
じり合った五彩の鮮やかな八重咲きと

のこと。また、嵐山には「鶯宿膳」なる名物弁当もあるとか。春の京都散策の楽しみがまた一つ増えた。

げにや、松に古今の色なく、竹に上下の節なく、梅に貴賤の香なし。鶯ならずとも、梅花に心を寄せ、梅が香を慕う。古来、老若男女を問わず、日本人の心と言えよう。(飯田正能記)

○咲くやこの花

表題は、今人気のNHK土曜時代劇『百人一首をテーマとした青春時代劇』の題名であるが、本稿は、そのこととは関係がない。

この句が初めて登場するのは、百人一首でも、万葉集でもなく、我が国最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』(醍醐天皇の詔勅により延喜5年・905年に撰上された。撰者は紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑ら。20巻。六歌仙・撰者らの歌約千百首を収め、その歌風は、素材で力強い万葉集の歌風に比べ、調和的で優美・繊麗。真名序・仮名序がある。当初、『続万葉集』とも言われた。)に収載されている次の和歌の一句としてである。

「難波津に咲くやこの花冬ごもり
今春春と咲くやこの花」

この歌の作者は、第15代応神天皇の御代(4世紀後半〜5世紀前半)に、

百濟から渡来した帰化人の王仁(古事記には和邇吉師)で、第16代仁徳天皇(5世紀前半)に奉った歌とされている。そうだとすれば、万葉集(我が国

現存最古の歌集。仁徳天皇皇后の歌と言われるものから淳仁天皇時代(天平宝字3年・759年)の歌まで400余年間の長歌・短歌・施頭歌・仏足石歌体歌・連歌約4千5百首、漢文の詩・書翰なども収録。)よりも古い伝承の古歌だということになる。この『古今和歌集』の巻頭に、編者の一人である紀貫之の「仮名序」が付されているが、その中に和歌の技法を説明した章がある。その和歌の六義(風・賦・比・興・雅・頌)の中でも「風一諷諭」の例としてこの歌を挙げている。そして、この歌は「歌の父母のやうにて」(和歌の原点のように)「手習ふ人の初めにもしにける」とも言っている。

歌の意味は、難波津(仁徳宮居―難波の高津宮)に梅が咲いた。長い冬籠りを終えて、今こそ梅が咲いた、と梅の開花に譬えて大鷦鷯尊(仁徳天皇)の即位を促している歌とされている。仁徳天皇は5世紀に活躍されたと考えられる天皇で、御名を大鷦鷯尊と言え、幼い時から聡明で叡智に溢れておられた。容貌が美しく、壮年になられると心が広く恵み深かったという。

また、応神天皇が、弟の菟道稚郎子(うぢのわかいらつこ)を皇太子に立てられると、弟を補佐して国事に励まれた。応神天皇が崩御された後、皇太子の菟道稚郎子は、皇位を兄の大鷦鷯尊に譲ろうとされた。理由は、大鷦鷯尊の方が年長であり、かつ仁孝の徳があつたからである。しかし、大鷦鷯尊は、父の応神天皇が決めたことに背くことはできないと言つて弟の申し出を断つた。そうして二人が譲り合つておると、もう一人の兄である大山守命が、皇太子を殺して皇位を奪おうと企てた。それを知つた大鷦鷯尊は、皇太子と共に迎撃し、大山守命を殺した。その後も二人は譲り合い、皇位は3年間空いたままであつた。すると、皇太子が自殺し、大鷦鷯尊がやむなく即位されて、都を高津宮に遷された。

一方、この歌の作者とされる王仁は、応神天皇の御代(応神16年)に百濟から来朝し、我が国に初めて儒学を伝え、また、皇太子菟道稚郎子に諸々の典籍を教えたと言われる。

『古事記』中つ巻の応神天皇記によると「百濟の国主照古王は牡馬一疋牝馬一疋を阿知吉師につけて貢つた。この阿知吉師は阿直の史等の祖である。また、横刀と大鏡を買つた。そこで朝廷は、『百濟国にも賢人あらばぜひ

貢れ』と命じた。百濟はそこで、和邇(日本書紀は王仁)吉師に論語十巻、千字文一卷、あわせて十一巻を持たせて貢つた。これが文首等の祖である」とある。

また、世阿弥三郎元清(室町初期の能役者・能作者。世阿弥十六部集など多くの著作と「老松」「高砂」「清経」「実盛」「井筒」「砧」「融」「班女」など多くの能を作る。)の作になる謡曲『難波』は、この難波津の梅の歌を主題としており、その中で、この歌の心を問うと、「難波の御子は皇子ながら、未だ位につき給はねば、冬咲く梅の花の如し。御即位ありて難波の君の位に備はり給ひし時は、今こそ時の花の如し。天下の春を知ろしめさば、今は春べと咲くやこの、花の盛りは大鷦鷯の、帝を花にそへ歌の」と、帝を花によそえた歌であると答えている。そして、王仁の霊が、梅花の精と共に現れ、難波の帝(仁徳天皇)の仁政を偲び、廷臣をねぎらうため王仁が舞楽を奏する、木花咲耶姫の神も出現して天女の舞を舞う、という非常に目出度い曲である。

仁徳天皇の御治世については、『古事記』にも『日本書紀』にも詳しく記述され、その御仁政を称えているが、仁徳4年、天皇は高殿に登られて一望

し、民家から炊煙が上がっていないのを御覧になり、それが人民の貧しさ故であろうと考えられ、以後3年間課税を停止し、人民の苦しみを和らげようとされた。また、その日から着物も履物も破れるまで使い、食べ物も腐るまで捨てなかつた。宮殿の垣根や屋根が壊れても修理せず、雨漏りがして室内から星が見えるほどであった。こうして天皇は、応神天皇の積極的な朝鮮半島への出兵により疲弊した国力を回復しようと努められた。3年後、人民は豊かになり、国内から天皇の徳を称える声が起こり、炊煙も上がるようになったという。

国力が回復すると、天皇は生産力を高めるために、灌漑や水防のための土木工事にも力を入れ、人民を豊かにさせた。

国立追悼施設建設を憂える

長かった自民党体制の時代に一区切りをつけて、鳩山民主党政権が誕生した。折角の政権交代、この国のために良かれと期待もするが、懸念も相半ばする。その懸念の一つが国立戦没者追悼施設建設のことである。

民主党は、昨年発表した「民主党政

れた。また、国力を充実させると、外交にも手腕を発揮し、新羅や百濟などとの外交のみならず、呉(宋王朝)とも外交があり、中国の文化を輸入した。仁徳天皇は『宋書』に記された「倭国王讚」と考えられている。天皇は在位の間、早く起き、遅く寝て政事を行い、税を軽くし、恵みを施して人民の困窮を救い、死者を弔い病む者を見舞い、身寄りのない者に恵んだ。この善政によつて天下は平穩で、20余年間無事だったという。

『古事記』によると、天皇は83歳で崩御された。仁徳天皇陵と言われる大山古墳(大阪府堺市)は、長さ480メートル、高さ35メートルの国内最大の前方後円墳で、墳丘の周囲には三重の濠をめぐらせている。

策集INDEX2009)の中に、無宗教の新たな国立追悼施設建立に取り組むことを盛り込んでいる。更に、民主党の岡田幹事長(当時)は、8月、中国メディアによる共同インタビューで、「A級戦犯は罪人であるから、首相は靖國神社に参拝すべきでない」と発言している。同時期、民主党の鳩山代表も、自らの靖國神社参拝を否定した上で、「ごなたもわだかまりなく戦没者の追悼ができる国立追悼施設の建

必要がある」と考える。

なお、最近、この難波津の歌について、紀貫之が『古今和歌集』の「仮名序」で、「この花」を梅としているが、これは貫之の誤伝で「この花」は桜であるとする説がかなり有力視されているが、それは、7世紀に建立された法隆寺五重塔の一層目の天井組子から「奈尔波都佐久夜己」(なにわつにさくやこの)という落書きが発見されており、また、同時代出土の木簡などにもこの歌が書かれていたことから、この歌は、7世紀頃から近畿地方の民衆の間に歌われた、桜の下での遊宴の歌ではなかつたかと言われている。したがってこの歌は、治世よろしかった仁徳天皇の難波の都に、長い冬籠りから解放され、桜咲く春が訪れた歓びの花見歌であつたのであろうとされている。し

設を視野に入れながら、党として取り組んでいく」と述べている。新政権発足直後から目前の政治案件から遠のいているが、突発的再燃の可能性なしとせず、靖國神社を抛り所として戦没者慰霊に携わっている我々としては、本問題を注意深く監視し、たゆまず建設阻止のための活動を続ける必要があると考える。

かし、この説には、俄かに賛成し難いのである。

古代の日本で「花」というときは、梅を指していた。桜が記録の上に現れるのは、持統天皇が飛鳥浄御原宮から藤原京に遷都(694年)されてからのことである。応神・仁徳の4〜5世紀頃は、朝鮮半島や中国文化の影響もあつてか、梅が代表的な春の花であつて、多くの歌に詠まれていた。それが徐々に桜に変化していくのであるが、特に民衆の間では、7世紀に活躍した伝説の行者・役小角の蔵王権現信仰の影響もあつてか、桜がその御神木として急速に広まっていっただけではなかつたか。

(飯田正能記)

改めて戦没者慰霊に思いを

現在、靖國神社には、戊辰戦争以来国のために殉じられた戦没者の御霊246万6千余柱が祀られている。それら戦没者の殆どは、国家の命令で戦場に赴き、国のため、民族のために、尊い命を捧げられた人々である。今日、私どもが享受している我が国の未曾有の平和と繁栄は、明治以来1世紀余に及ぶこれら戦没者の尊い献身の上に築

かれたものであることを、我々は決して忘れてはならないし、また、その思いを後世に伝えてゆく努力を怠つてはならないと考える。

先の大戦が終わり、平和を謳歌して65年、今日の日本実現の礎となられた戦没者に対する感謝と敬意の念が、ともすれば薄らぎつつあることを憂える。目先の対応にとらわれての新追悼施設建設構想は、戦没者慰霊の本質を忘れての議論ではなからうか。

○靖國は戦没者慰霊の中心的施設

明治天皇の思召しによって創建され、明治維新以来の戦没者、国事殉難者を祀る靖國神社は、戦後の連合軍の占領政策によって国の管理下を離れ、一宗教法人としてのみ存続することを余儀なくされた後も、大東亜戦争の戦没者合祀を国に代わって、使命として受け継ぎ、創祀以来の戦没者慰霊の祭祀を営んできている。戦没者の多くが、その遺書や遺稿に見るとおり、家族には靖國神社に会いに来よう言い残し、戦友には靖國神社での再会を約束して、雄々しく散って逝かれた方々である。

靖國の神前に頭を垂れ、今日の日本の礎となられた戦没者に敬意を表される。東京を訪れる各国軍人の多くも、靖國神社を訪れ、かつての勇士の靈に敬意を表してくれる。こうした内外の靖國神社参拝者数は、今も年間6百万人を数えるとのこと。靖國神社は、近代日本創設の明治以来の歴史と伝統のもと、今も我が国における戦没者慰霊の中心的施設であり続けていると確信する。

○靖國と「特定の宗教性」は無縁

「民主党政策集INDEX2009」

は、新たな国立追悼施設に「どなたもわだかまりなく戦没者の追悼が出来る場所として」特定の宗教性をもたないことを強調している。靖國神社に「特定の宗教性」を意識しての主張であるが、明治維新以来、国のために命を捧げた戦没者の御霊を祀る靖國神社の歴史は、近代日本の歩みとともにある。連合国軍の占領政策によって戦後、宗教法人としてのみ存続することを余儀なくされたが、創建以来の靖國神社の性格や祭祀は一切変わるものでなく、その歴史と伝統が途切れたわけでもない。戦没者慰霊のための我が国の中心的施設として長きにわたり国民に親しまれてきた靖國神社に、今改めて特定の宗教性を意識する日本人は殆

どいなくと考える。それは、特定の宗教信仰とは無縁の形で村の鎮守様にお詣りするのと同じ、日本古来の民族風習とでも説明できようか。靖國神社は、日本人にとつて今も変わらず、神になられた戦没者に対する万民共通の祈りの場なのである。

戦後、靖國神社を占領軍の焼き払い計画から救った恩人として、駐日ローマ法王庁ヴァチカン公使代理ビツテル神父の名前が挙げられるが、彼は次のようにマッカーサー占領軍総司令官に進言したと聞く。

「いかなる国家も、その国家のために死んだ人々に対して、敬意を払う権利と義務がある。…もし、靖國神社を焼き払ったとすれば、その行為は米軍の歴史にとつて不名誉極まる汚点となつて残ることであろう。…神道・仏教・キリスト教・ユダヤ教など、いかなる宗教を信仰する者であろうと、国家のために死んだ者は、全て靖國神社にその霊を祀られるようにすることを進言する」

○「戦犯」は日本には存在しない

「民主党政策集INDEX2009」

は、(今一つのわだかまりとして)「靖國神社にA級戦犯が合祀されていること」を問題視している。国際法や近代刑法の原則を無視して、戦勝国が敗戦

国日本を裁いたのが東京裁判であり、いわゆる「A級戦犯」の烙印はその所産であるが、彼等は時の国策遂行責任者ではあるが「犯罪人」ではない。

講和条約発効直後の昭和27年5月、連合国による軍事裁判受刑者は国内法上の犯罪人として扱わないとする法務総裁通牒が発せられた。また、日本弁護士連合会を皮切りに全国各地に広がった戦犯赦免運動は4千万人とも言われる膨大な数の署名を集め、「戦犯」の名誉回復を求める国民の願いとして政府・国会に届けられた。昭和28年8月には「戦争犯罪による受刑者の赦免に関する決議」が左右社会党を含む当時の与野党殆どの賛成で衆議院本会議を通過、関係国の同意も得て、いわゆる「戦犯」はA級を含め全て釈放された。

以後、遣族援護法・恩給法などの関係法令も逐次改正され、「戦犯」本人及び同遺族の全てが一般国民と同様に扱われるに至ったが、それらの国会決議・政府措置は全て、我が国の独立とともに、連合国の押しした「戦犯」なる烙印を払拭し、たとえ戦争指導者であっても、共に国のために戦い、共に国に殉じた人々として同じに取り扱うべきだったと考える。

A級に限らず、いわゆる「戦犯」の

方々の「昭和殉難者」としての靖國神社合祀は、こういった当時の国内一般世論とそれを受けた政府措置に基づく当然の帰結だったのである。

鳩山総理及び民主党が考える「国立追悼施設」が如何なるものか定かでないが、長きにわたり戦没者慰霊の中心

東京都の「慰霊堂」と「戦没者霊苑」、
そして、靖國神社の「慰霊の泉」

○「東京都慰霊堂」と「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」

昭和20年3月10日子丑の刻、栄光の陸軍記念日であるべきこの日、首都は忽ちにして紅蓮の焰と猛煙に包まれ、阿鼻叫喚の焦熱地獄と化し、10万市民の無残な死体に覆われた。東京大空襲である。

今年はいずれから65年、未だに行方不明の肉親、親族、知人を捜して、毎年3月10日に春季慰霊大法要が営まれる、都立横網町公園(墨田区横網2丁目、関東大震災時の旧陸軍被服廠跡)内の「東京都慰霊堂」を訪れ、犠牲者の名前や伝を捜し求める多くの人々の姿が見受けられる。そして「東京空襲犠牲者名

簿」への登載者数も年々数百名ずつ増えていくという(この犠牲者名簿は、同公園内の泉水を象った「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」の中に納められているが、今年3月現在、34巻約7万9千名となっている。だが、不明者はまだ2〜3万名に上るとい

う。(なお、軍人、軍属であった方で、東京大空襲等による死没者については、満洲事変以降大東亜戦争までの東京都出身全戦没者の霊を祀る「東京都戦没者霊苑」(文京区春日1丁目)に収められ、同じく財団法人東京都慰霊協会が管理と慰霊業務に当たっている。

今年はいずれから65年、未だに行方不明の肉親、親族、知人を捜して、毎年3月10日に春季慰霊大法要が営まれる、都立横網町公園(墨田区横網2丁目、関東大震災時の旧陸軍被服廠跡)内の「東京都慰霊堂」を訪れ、犠牲者の名前や伝を捜し求める多くの人々の姿が見受けられる。そして「東京空襲犠牲者名

戦没者の御霊に対する冒瀆ではないかと危惧するものである。

一方、これまでの靖國神社に替えて新しい戦没者追悼施設が考えられているとすれば、これまた由々しき問題である。明治以来の我が国の歴史と伝統に基づく国民挙げての祈りの場としての靖國神社の否定は、国が靖國神社に

「東京都慰霊堂」には大正12年(1923年)9月1日の関東大震災による都(府)内の遭難死者約5万8千柱分と昭和20年(1945年)3月10日の東京大空襲(死者約8万4千名)を始め、昭和19年11月24日から昭和20年8月15日の間、約115回に及ぶ東京都(府)内空襲による戦災死者約10万5千柱分の身元不明の遺骨を、慰霊堂本堂の後ろに併設の納骨堂(三重の塔様式)に収め、3月10日の春季慰霊大法要のほか、9月1日の秋季慰霊大法

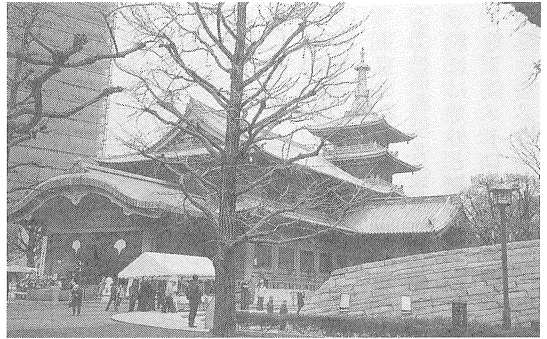
要等が財団法人東京都慰霊協会の主催で厳粛かつ盛大に営まれている。この日夜来の冷雨も上がり、一入清浄の氣に包まれた横網町公園内「東京都慰霊堂」には、朝から大勢の人々が参拝に訪れ、献花・焼香の列が長く続き、堂周辺に香の薫りが漂っていた。午前中堂内で執り行われた財団法人東京都慰霊協会主催による都内戦災遭難

祀ってくれることを確信して散華された英霊に対する背信行為であることもとより、明治以来、営々として培われた日本人の精神文化そのものの解体につながりかねないことを深刻に懸念する次第である。(柚木 文夫記)

者及び関東大震災遭難者の「春季慰霊大法要」には、常陸宮正仁親王殿下の御臨席を仰ぎ、石原慎太郎都知事を始め、被災者や遺族代表ら約320名が参列し、読経の後、石原都知事が「恒久平和と永続的な安全を実現するため、我々は一層努力すると共に、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世界を次の世代に引き継いで行かなければならぬ」と追悼の辞を述べた。この日は「東京都平和の日」(平成2年制定)でもある。その後、参列者及び一般参拝者の献花・焼香は午後に至るまで延々と続いた。また、この日は、慰霊堂後方の納骨堂が開扉され、身元不明の犠牲者の冥福を祈る献花・焼香者の列も延々と続いていた。更に、公園内の「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」も、この日は開扉され、水を抜かれた泉の潜橋を渡って、碑内の犠牲者名簿(第1巻か



慰霊堂前の献花・焼香



東京都慰霊堂全景・後方納骨堂・
右手前追悼平和祈念碑



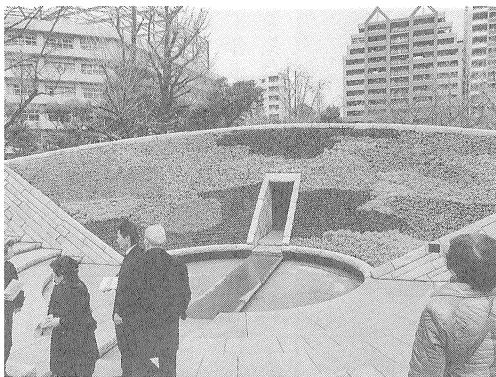
納骨堂に献花・焼香する参詣者の列



退出される常陸宮殿下

ら第34巻まで)を拝観することができ
るが、身内の名前が記載された巻の前
で掌を合わせる人の姿も多く見受けら
れた。

また、この日は、同公園内にある
「東京都復興記念館」内で通常の展示



東京大空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑



碑内の空襲犠牲者名簿

品のほか「東京空襲資料展」や「戦災
写真パネル特別展」が開催され、多く
の写真、絵画、遺品、記録等が展示さ
れていたが、特に今回は、反骨の写真
家とも言われる戦災当時の警視庁警察
官石川光陽氏が、大空襲直後に撮影し、

戦後GHQからの提出命令も拒否して
ネガを守り通したという、夥しい残酷
な焼死体や遺体収容の写真は、鬼哭・
妖気の迫る感があり、目を覆わしめる
ものがあつた。東京都慰霊協会の資料
(戦災焼死者改葬事業始末記)による
と、3月10日の東京大空襲の死者約10
万のうち身元不明者は約90%に及び、
しかも身元不明者総数8万9430人
(当時の35区内)のうち男女の識別可
能遺体は3万817人に過ぎず、残り
の5万8613人は識別不能遺体で、
約66%に及び、男女の識別すらできな
い、黒焦げの死体や焼け崩れてゴミと
化した死体が山をなしたという。これ
らの不明遺体は、被災直後に都内数十
箇所仮埋葬され(例えば、錦糸公園
1万3951体、猿江恩賜公園1万3
242体、上野公園8391体、隅田
公園6374体ほか)、その後数年を
かけて調査、焼骨して、この慰霊堂に
納骨されているという。慰霊堂には、
その後の空襲犠牲者を合わせて10万5
400体が納骨されている。

「東京都戦災史」(昭和28年3月発
行)によると、東京空襲は、昭和17年
4月18日の初空襲(ドーリットル中佐
指揮のB25爆撃機16機が東京を奇襲。
荒川・王子・小石川・牛込の各区で被
害家屋計61戸、死者0)を皮切りに昭

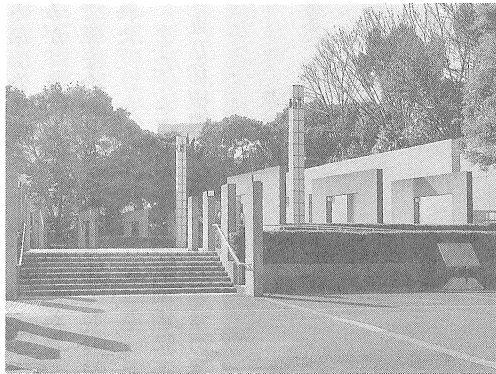
和19年11月24日以降は連日のようにB
29重爆撃機や艦載機による襲撃が続き、
昭和20年8月15日の西多摩郡青梅町空
襲まで115回に及び、被害総計は、
被災家屋76万7164戸・死者9万5
507人に達している。中でも3月10
日の下町を中心とする大空襲による焼
失家屋は26万8358戸・死者8万3
793人に及び、この数は1回の空襲
による被害数としては、第二次世界大
戦中最大規模のものであり、広島の大
爆による被災数をも上回っている。東
京では、その後も大規模空襲が続き、
主な空襲では、4月13日～14日の被災
家屋17万1370戸・死者2459人、
4月15日～16日の被災家屋5万874
戸・死者841人、5月25日の被災家
屋15万6430戸・死者3242人、
8月1日～2日の八王子・立川方面の
空襲では被災家屋1万4147戸・死
者225人を数え、遂に東京は灰燼に
帰した。しかも犠牲者の殆どは非戦闘
員であった。

○「東京都戦没者霊苑」

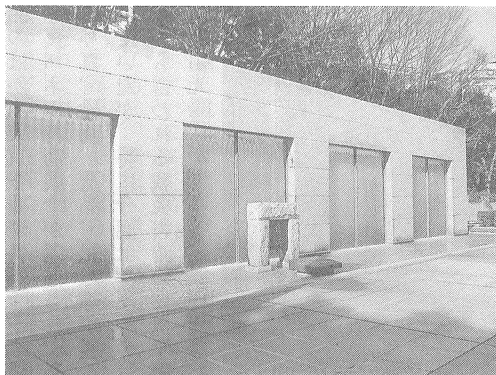
東京の都心部、文京区春日1丁目
に「東京都戦没者霊苑」のあることは、
一般には意外と知られていない。

地下鉄メトロ丸の内線の後楽園駅に
隣接して、美しく整備された礪川公園

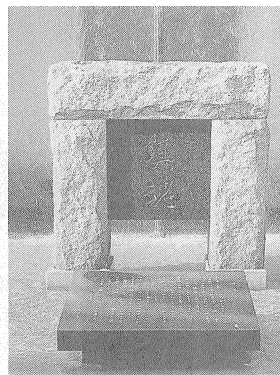
がある。その公園に沿った一段高い台
地の、木立に囲まれた静寂の地にこの
霊苑はある。霊苑の入口は、白山通り
の春日から伝通院に向かう富坂に面し
ているが、この辺り一帯の、いわゆる
小石川台地は、古くは水戸藩上屋敷の
一部であった。明治以降は、陸軍砲兵
工廠・諸工伝習所敷地となり、小石川
陸軍工科学校もこの地にあった。昭和
15年には、首都の忠霊塔建設予定地に
選ばれたが、戦争の激化により実現を
見ないうちに終戦を迎えた。戦後は、
財団法人東京都慰靈協会が戦没者・戦
災者慰靈施設として管理し、昭和28年
に戦没者慰靈施設用地として国から東
京都に寄付された。敷地面積は約6千



霊堂 (保管室)



霊堂正面・泉水の中の鎮魂の碑

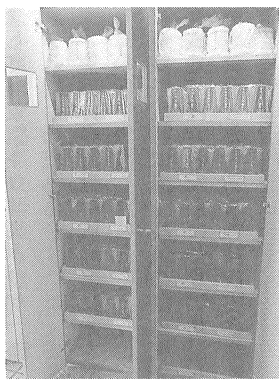


鎮魂の碑

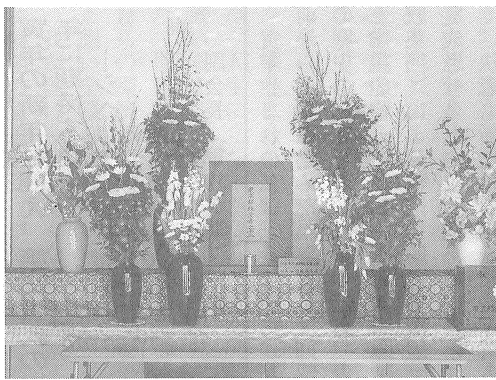
300平方メートル。
その後、東京都ではこの地に、昭和
6年の満洲事変以降大東亜戦争におけ
る16万余柱に上る都関係戦没者の慰靈
と都民の平和への願いを込めて、昭和
35年6月に慰靈施設を建設した。昭和
37年6月には、遺族ら来苑者の休憩所
兼集会所・事務室も完成した。また、

昭和56年には、遺品展示室が、財団法
人宝くじ協会から寄付された。
しかしながら、建設後26年の歳月を
経て、慰靈碑、休憩所等の施設の老朽
化が目立つようになり、都では昭和62
年度に全面改修工事を行うこととし、
専門建築家、遺族代表、有識者等によ
る東京都戦没者慰靈碑建設委員会を設
置して広く意見を求め、審議の結果を
基に、昭和62年に着工し、昭和63年3
月に竣工したのが、現在の慰靈苑であ
り、都の委託を受けた財団法人東京都
遺族連合会の手により行き届いた管理
が行われ、都心には珍しい樹木に囲ま
れた憩いと瞑想の場となっており、し
ばし英霊との心の交わりの場とするに
相応しい環境を醸成している。

霊苑の正門を入ると、正面の教段高
い所は、広大な石畳の参列広場となっ
ており、その西正面、入口から右手の、
中央大学校舎の建つ丘の緑の樹林を背
景に、白亜の霊堂(保管室)が建ち、
霊堂の前には池(泉水)が配置され、
霊堂のガラスの壁面には、高さ3・36
メートルの白糸の滝を模した泉水が音
もなく流れ落ちている。心和む光景で
ある。その滝を背景に、水面の中心に
浮かぶ形で、高さ1・59メートルの門
形の白御影石に囲まれた黒御影石に、
「鎮魂」の二文字が刻まれた「東京都



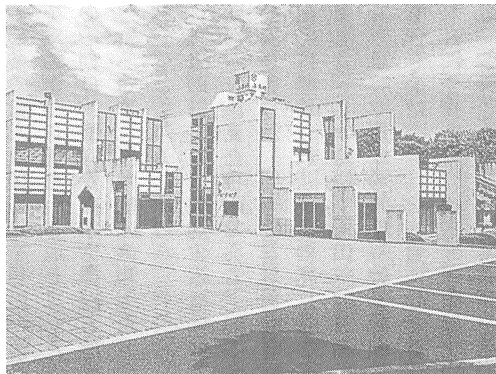
位牌・分骨・分髪収納庫



霊堂内中央祭壇の霊標

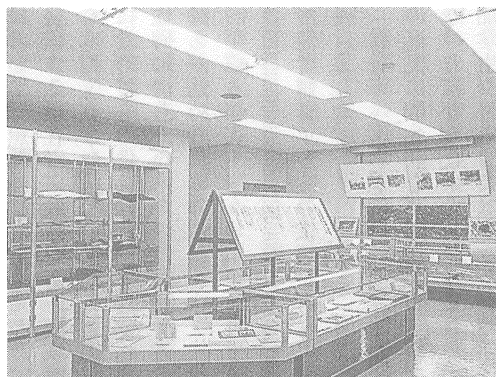
戦没者鎮魂の碑」がある。当時の鈴木俊一知事の筆になるものである。碑の前に置かれた黒御影石には、文化勲章受章の高名な文芸評論家山本健吉氏撰書による、平和への願いを記した碑文が刻まれている。珍しくペン書きのものである。

「あの苦しい戦いのあと、四十有余



休憩所全景

年、私たちは身近かに一発の銃声も聞かず、過して来ました。あの日々のことはあたたかも一睡の悪夢のように、遠く悲しく俯して来ます。だが、忘れることができませんか。かつて東京都の同胞たちの十六萬にも及ぶ人々が、陸に海に空に散華されたことを。あなた方のその悲しい「死」がなかったら、私たちの今日の「生」もないことを。そして後から生まれて来る者たちの「いのち」のさきわいのために、私たちは何時までもあなた方の前に折り続けることでしょうか。



休憩所2階の遺品展示室

の都民の心の憩いの苑でもありません。この慰霊、招魂の丘に、御ころ永遠に安かれと、茲にこれが辞を作る。山本健吉」また、参列広場の正面に向かって左奥の林間の碑石には、霊苑の建立と改修に至った由来文が、これも高名なノンフィクション作家角田房子さん（平成22年1月1日逝去、95歳）の撰書により刻まれている。近現代史をテーマにした数々の著書を著したノンフィクション作家らしく「戦没の御霊にお願ひ申上げる。お声を風に托して、戦争の実態を私たちに語り聞かせていただきたい。そして私たちが強い意志と英知をもって、平和を守るという至上の

命題にとり組めるよう、お導きいただきたい。霊苑が戦没者の御霊と私たちの心の通い路になることを願って、ここに謹んでその由来を記す。」と結んでおられる。

この霊堂には、満洲事変から大東亜戦争終結までの都（府）関係戦没者16万余柱分の霊簿と、遺族等から託された位牌、分骨・分髪約4万柱分が収められており、その中央部には「東京都戦没者之霊」と記された「霊標」を祀る祭壇が設けられており、毎月の拝礼式のほか、3月と10月の春季・秋季慰霊追悼式、及び8月15日の全国・東京都戦没者追悼式が厳粛、盛大に執り行われている。

また、休憩所棟の2階には遺品展示室もあって、遺書、手紙、千人針、鉄帽等数百点が展示されている。

靖国神社の「慰霊の泉」

靖国神社の外苑、大鳥居の北側の木立に囲まれた一角に「慰霊の泉」がある。昼なお薄暗い余り目立たない場所にあるので、お気付きでない方もあろうかと思われるが、その碑の前に立つと、英霊への母の思い、そして数々の激戦地で死闘を繰り返し散華された英霊への思いに感涙が込み上げてくる。この碑は昭和42年4月、明治百年を記

念して「東京キワニスクラブ」から献納されたものである。

「慰靈の泉」は、戦没者に水を捧げる母の像を象徴したとあるように、大東亜戦争、特に南方戦域の諸島嶼での激戦地では、どんなにか水に枯渴し苦闘されたことであろう。碑文に「戦没

寅年の新年を迎え、第三世代の青年に期待する

—シベリア鎮魂慰靈祭に捧げる追悼のことば—

東京ヤゴダ会

副会長(軍校7期) 茨木 治人

寅年生まれの私は、今年中に、5年前から活動を始めた「シベリア抑留」の歴史の真実を若者に語り伝え、青年と学生組織(JYMA・日本青年遺骨収集団)による「国民的慰靈組織」を完成させるという意義ある1年とすべく、決意も新たに新年を迎え、若者達の感觸を得て組織確立に向け活動を開始しました。

本年の計画は、まず、青年組織による広報活動をネット上に展開し、「シベリア抑留」の真実を日本人に配信します。国が教科書で教えない「シベリア抑留」は、あの囚人扱いの強制労働によって同胞がソ連全土の戦後復興と

者の多くは、故国の母を想い、清い水を求めながら息を引き取りました。この彫刻は、清らかな水を捧げる慈愛に溢れる母を、抽象的に表現したものです。」とある。

以上の三霊苑に共通するものは清らかな水を湛えた泉水である。先の大戦

開発に酷使され、多くの死亡者を出しました。しかるに、鳩山一郎首相(當時)は、ソ連が勝手に「戦争犯罪人」を作り上げ、それを人質にした外交戦略に引掛かり、拙劣・屈服外交の結果、「日ソ共同宣言」では、ソ連の国際的犯罪に対して抗議もせず、補償も取れなかった歴史の真実を訴えたいと思うのであります。

奴隷労働に等しいソ連による強制労働が、戦後処理として風化寸前にあることを憂え、真実を配信することによって、日本人として、死亡した同胞の鎮魂慰靈をしなければならぬ歴史の真実を語り伝え、広く青年の賛同を得て行う「国民的慰靈祭」の実現に、寅年の今年は、一歩も二歩も前進させたいと、第三世代の青年に期待しております。

昨年3月、JYMAが実施した自主派遣の沖繩遺骨収集事業の報告会があり、終了後の懇親会で、挨拶とシベリア慰靈についての話をしてほしいとの

において、焦熱地獄をもたらした大空襲による犠牲者、大陸や南方戦域で水を求めて苦しんだ戦没者、それらの方々にせめてもの供養にと、それぞれの慰靈碑に清らかな水を捧げた設計者の気持ちが届められている。

平成6年(1994年)2月、硫黄

主催者側青年からの依頼があり、引き受けました。

教科書に記載のない「シベリア抑留」の真実に触れ、なぜ死亡者の慰靈をしなければならぬかを語りました。参加学生や青年層にはネット上の学者や知識人の記載を読んで勉強している者もいました。大学の学園祭でシベリア抑留展を実施した時、手伝いに来ていた学生も多数参加しており、「シベリア抑留」に関心が高いことを実感した有意義な一時でありました。その中の一人、特にネット記載記事から勉強していると察せられた青年とは、その後何回か文通し、知られていない史実を伝えたりして、その関心の深さと熱心に感じ入っております。

昨年11月3日、毎年恒例となった、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で行われる「シベリア鎮魂慰靈祭」に、この青年を指名して「追悼のことば」を墓前で読んでほしいと依頼しました。若者を慰靈祭

島に慰靈のため行幸・啓された天皇・皇后両陛下がお詠みになられた御歌のうち、皇后陛下の御歌「慰靈地は今安らかに水をたたふ 如何ばかり君ら水を欲りけむ」を思い浮かべて目頭の熱くなる想いである。(飯田正能記)

に参加させ、「一歩前進」させたかったのです。

本人は初めてのことであり、迷いもあつたようなので、「君自身の、日本人として、今、感じていることを、飾ることなく、率直に墓前で述べれば、それが追悼慰靈の言葉になる、君自身の言葉で語ってくればよい」と話しました。

その青年が水野英大君で、私は敢えて事前に原稿は読まず、墓前で水野君の青年としての自分の思いを率直に述べる「追悼のことば」を初めて聞きませした。御遺族にも大きな感動を与えてくれたものと感謝し、若者の力強さを感じた次第であります。

次にその全文を紹介いたします。

追悼のことば

水野 英大

この度は、我が国の聖地、千鳥ヶ淵

戦没者墓苑にて、シベリア鎮魂慰靈祭という尊い式典に参列させていただき、更にシベリア抑留の遺族でもない私のような何も知らない昭和40年代生まれの男が、我が国の民族における次世代の覚悟の程を表明することが追悼になるといふ想いで、私にご依頼くださった慰靈祭執行幹部の皆様のご意にお応えし、また、尽きる事の無い追悼と敬意の想いを込めまして、私ども孫の世代を代表する気持ちで拙い追悼の想いを僭越ながら申し述べさせていただきます。

私は幸いにも日本国に生まれ、苦もなく幸せに今日まで過ごして参りました。人生に立ちふさがる大きな問題も無いままにこれまで過ごして参りました。世界の貧しい国々を見るにつけ、自らの環境とはどのようなことなのかと想いを巡らせます。

我が国は今日、様々な問題を抱え、新興国の猛追を受けつつも、いまだ世界第二位の国内総生産を誇る超大国のままであります。この超大国を築き上げたのは将兵の世代の皆様です。そしてロシアは、国土だけは広くとも、我が国の方がいまだ経済大国であります。そして私共の世代は、我が国の大国としての富の恩恵を享受しつつ、衣食住に不自由を感じた経験も無く、高度な

教育を受けさせていただき、易々と高度な仕事をさせていただき、平穩無事そのものの人生を歩ませていただいております。それにひきかえ、命を懸けて我が国を護らんとした勇猛果敢な若き将兵の皆様が、ついにはシベリアに拉致され、温暖潤な我が国とはおおよそ掛け離れた酷寒の地にて粗末な食料で極限までの不法な強制労働とは、一体全体、勅命により武装解除しただけの若き将兵の、誰がそのようなことまでさせられるような事をしたというのであろうかと思ひ、その過酷過ぎる運命とは一体どうしたことかと愕然と致します。私共の世代には全くあり得ない、およそこの世のものとは思えない地獄絵図の歴史です。無念にも帰国を果たせなかつた御霊の御無念はいかばかりであつたでしょうか。私のごとき戦後世代が最大限の想像力を巡らせてもまだ足りぬ艱難辛苦の連続であつたであろうという想いを巡らせるのみであります。故に私共の世代はその想いをいつまでも忘れることなく、さらに日本民族はシベリアの御霊を永遠に忘れないことによつてのみ、今後我が民族が進むべき道を見失わず永遠に力強く進むことができるのだと固く信じているところであります。

私共の友人には、シベリアへの遺骨

収集を続けている者もおります。私も遺骨収集は時間と状況の許す限りは、何とかして続けて行くべきライフワークであると考えております。また、これらの遺骨収集がもつと大規模に行われる国の体制が整うよう、微力を尽くして参りたいと思つております。

私自身も所詮は戦争も知らぬ戦後生まれであり、祖父の世代の気高く雄々しい日本人の姿とは比べるべくもないひ弱な存在であります。そんな私ども戦後生まれの世代が、更に曾孫の世代やそれに続く世代が、かつて東アジアの国々から尊敬された力強く美しい民族としての誇りを取り戻すには、それは唯一つ、いつまでも美しい覚悟をもつて我が国のために尽くされた御英霊に想いを馳せること、この祈りによつてのみであると確信いたしております。

我が国の誇りと尊厳は、我が民族の続く世代が世代を超えてその歴史と伝統を受け継ぐことによつてのみ維持され、これらを最も護ってきたのが我が国の防人の方々でありました。世界で最も勇敢で恐れられた雄々しく美しい我が国の先人の防人の皆様が私共後世の世代に示された究極の武士道こそが、我が国がさらに何千年も続く繁栄を守る新たな防人達を生み出すものと確信致します。それはおよそ私共の世代の

意識を遥かに超えた崇高なる大和魂が、今も歴史の中に燦然と輝き続けているからに他なりません。この光り輝く大和魂の御霊が私共の心の中にある限り、我が民族の繁栄は永遠に続くこと固く信じてやみません。

これからも千鳥ヶ淵と九段の社を始めとする霊地より横溢する目に見えぬ弱々しい日本の後輩達は、その美しい御霊の存在感により、模索しながらも何とか迷うことなく、今後の大和民族が進むべき道を歩んでいくところでございます。

私共続く世代も、御英霊の御遺志をいつまでも忘れることなく、あるべき民族の道を力強く歩み続ける事を御英霊の皆様にお誓い申し上げます、重ねて尽きることはない追悼と敬意の想いを込めまして、私の大変拙い慰靈の言葉に代えさせていただきます。

平成21年11月3日
御霊の皆様の子孫世代の想いを代弁するような想いにて

水野 英大
〔七期生会会報〕67号より



表題は、当協議会の参加団体である「特定非営利活動法人JYMA日本青年遺骨収集団」(平成20年度に改名、

ただし、登記上は「特定非営利活動法人Jエイワイエムエイ」と表示、英文表記は「Japan Youth Memorial Association」略称「JYMA」の機関紙(月刊)の題字であるが、その第119号(平成22年2月1日発行)によれば、今年度も昨年に引き続き沖縄自主派遣の遺骨収集事業を実施することとし、初参加者9名を含む14名に

及ぶ多数の隊員を現地に派遣し、2月15日から24日まで6日間の日程で収集活動を行ったが、本派遣は、今後、JYMA活動の機軸を担う新世代加入への足掛かりとなる重要な派遣であり、その目的とするところは、「現在の学生は小、中、高校の教育で大東亜戦争について勉強はしているものの、深くは考える機会もなく、実感の湧かない者が多い。そこで、遺骨収集作業や戦跡を見学することで、今なお残る戦争の傷跡を、その身をもって感じてもら

い、戦争について学ぶ。沖縄における自主派遣は、他の政府派遣とは異なり、学生主体の派遣であり、今回は経営者漁火会をはじめ、多くの篤志贊助のお陰で、多数の学生も参加することができることとなった。遺骨収集という活動を通して、祖国の先人達が戦った戦争について今一度考え、学んでもらいたい」というものである。

なお、毎号に掲載されている同派遣隊員の報告文は、未知の実体験から生まれる若者達の純粋な感動の籠もったものが多く、深い感銘を受けるが、今回もご了承を得て、その一部を転載させていただきます。

【第二六三次硫黄島派遣報告】

東京から遠く離れた地で

第二六三次硫黄島派遣隊員

明星大学三年 野村 友紹

今日も雑踏に時が忙しく流れていく。現代の日本人は時に追われ、振り返ることなくただ淡々と日々の物事をこなして、生きていく。しかし覚えていてほしい。我々、今を生きる日本人は守られたことを、命を懸けて守られたことを。

私は将来、学校教員に就くことを目指している。日本の未来を担う子供に伝えるべきことは何か、教育とは何かを今勉強中であり、硫黄島派遣はその勉強の一環である。従来民間人として硫黄島に立ち入ることは不可能である。しかし遺骨収集の協力という形で入島できると知って、直感的に参加しなければ一生後悔すると思い、私は大切な時期の大学の講義を調整してまで参加を希望した。

島に到着してまず暑い。12月の日本といえど冬の寒さも本格的になり、煌びやかな光が街を包む、といった雰囲気になるのが通例だが、硫黄島は南国の様相で本場に日本に在るのかと疑ってしまう程の陽気であった。硫黄島の自衛隊員も半袖の装いで、私も思わず袖を捲った。12月にも関わらず、期間中の平均気温は昼夜通して20度くらいと感じた。帰る頃にはすっかり日焼けして友人から冷やかされた。

今回の作業は、第二次から引き継いだ天山慰霊碑付近の壕の作業に重点が置かれ、初日から排土・排泥作業に従事した。当初壕内は非常に熱波を擁しており、壕口も狭く作業は不効率を呈した。3日目には雨が降り壕に雨水が溜まり吸水ポンプを用いての作業を行い、約70度の壕内に列を組んで土砂を

排出した。固い地盤をツルハシやエンピで砕く作業は数分で汗びっしょりになり、何度も何度も交代しながらの作業となった。壕内には熱気と硫黄の臭いが充満し、宿舎に戻っても臭いが取れない程であった。また限られた光の中で作業を行うことで、交代の際壕外に出た時の光、空気、風の有難みを大いに感じた。当時の兵士達の、米軍の空爆・艦砲射撃等のため壕内から出ることを許されない状態を考えると、自由以外の空気を吸え、光を感じることができると今の自分が本場に幸せであると感じた。

続いて作業を行った別の壕は、とにかく地盤が固く、何枚も折り重なったトタン岩はツルハシやエンピでは作業が進まず、電動ドリルを用い、掘削を進めた。しかしこれは、不発弾が大量に埋まる壕内では大変危険な作業で、緊張した雰囲気の中で進められた。この壕からは缶詰や万年筆が出土し、また手付かずの乾パンが大量に見付かった。乾パンは原形を留めており、まだ食べることができそうな見掛けであったが、中は壕の熱で黒焦げになっていた。64年前のそのままの記憶である乾パンに出会えたことに私は感動を覚え、しかしこれはまだまだ硫黄島に先人の遺骨を含む、数多くの当時の記

憶が眠っているという実情に気付かさ
れた一場面でもある。

天山慰霊碑に参拝した際に、とても
心に響いた光景があった。それは米を
撒き、水を備えていた光景である。現
代では米を捨て、水を自由に流して生
活している。当時この地では不要なも
のなど何もなかった。足りないものが
多過ぎた。私は当時の人々に現代の生
活を体験してもらいたい。お陰様でこ
んなに不自由のない素晴らしい生活を
送っていますと伝えたい。古来からの

日本の領土で初めて戦場になった硫黄
島、もともと多くの英霊を遠く離
れた東京に迎えたい。様々な考え方が
あるものの、同じ日本人が戦ったこと
は事実であるので、このような活動が
世間にもっと知れて、もっと多くの
人が携わるべだと私は考える。

私達は誰に生かされて誰を生かして
いるのか。人は一人では生きられな
い。現代に足りないのは、人への思い
遣りだと思ふ。私は将来、子供達にこ
のようなことを伝えていくべきだと、
この経験で感じた。

グアム島自主派遣経過報告

早稲田大学四年 宮崎 貴裕

この度、ジェイワイエムエイ日本青
年遺骨収集団では、米領グアム島で、
日本人将兵の御遺骨が発見されたとの
情報を受け、急遽私がグアム島へ向か
い、現状確認と今後のグアム島遺骨収
集へと繋げるための情報収集を行って
参りました。紙幅の都合上、今回は簡
易な報告とし、『今、何を語らん』で、
改めて詳細な報告をしたいと思ひます。
御了承下さい。

◆派遣に至った経緯

平成21年の12月頃、グアム島と日本
に組織を持ち、グアム島戦の遺族、戦
友や慰霊に関心を持つ在グアム島邦人
が集まるピースリンググアムという団
体から当法人に、グアム島で水道工事
中に御遺骨が発見されたとの連絡があ
りました。当時は厚生労働省も動かず、
御遺骨が埋め戻されかねない状況であっ
たため、民間で出来る事はやろうとい
う機運が高まり、ピースリンググアム
の日本の会員の皆さんと現地入りする
ことを決めました。その準備をしてい
る間に、厚生省が受領と現状確認のた
めにグアム入りする事が決まりました。
我々としても現状確認等の目的達成の
ために、グアム入りした次第です。

◆発見現場

今回の発見現場は、グアム島アガッ
ト村南サンタクルズ通りという、住宅

街の真ん中でした。日本人と鑑定が済
んだのは一柱のみでしたが、あと四か
ら五柱の御遺骨が一部姿を見せており
ました。

その一柱を受領し、残りの御遺骨は
2月から3月に応急派遣を編成するよ
う外事室で検討されるようです。

◆慰霊祭の様子

現地考古学者の鑑定が済んだ一柱の
御遺骨を受領し、グアム島の火葬場
で、慰霊祭が挙行されました。グアム
島で戦後敵国の将兵の遺体が茶毘に付
されるのは初めての事だそうです。武
には富野在ハガニヤ総領事やアガッ
ト村の関係者など様々な人が参列されま
した。

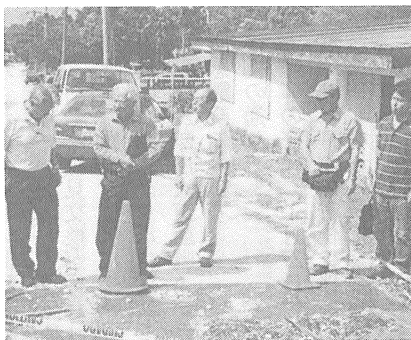
◆グアム島遺骨収集の特徴

グアム島は米国の準州であり、自治
領であるサイパン島と比べ、米国の法
律の規制が厳しくなっています。例え
ば、グアム島では戦後65年も経過した
大東亜戦争の遺物は考古学的見地から
調査され、考古学の専門家が試掘や鑑
定を行います。我々民間人が勝手に試
掘することは法律に抵触し、許されま
せん。

また、今回発見された御遺骨は、ア
ガット村というグアム政府管轄下の土
地であったからこそ、厚生省が現地確
認出来ました。しかし、これが米国の

海軍、空軍基地という合衆国政府管轄
下の土地であった場合、厚生省は現地
確認すら許されません。
今回、更に御遺骨が残されている可

能性のある
場所の情報
を得ました
が、これに
ついてはピー
スリンググ
アムを始め
とする様々
な団体と連
携し、慎重
にことを進
めるつもり
です。



発見現場を視察する梅原厚生省
外事室室長



発見現場の様子。住宅に囲まれているのがわかる

事務局からの報告

一 平成21年度理事会・評議員会の開催

1 第2回理事会(書面)の開催

ア 日 時 平成21年12月9日

イ 当協議会としては、平成21年度

第2回理事会を平成22年1月下旬に予定していたが、厚生労働省から

「内部留保率の改善」に関する報告を緊急に求められ、時間的余裕もなく「書面による理事会」をもって審議及び承認をいただくこととした。

その結果、理事全員の賛同を得て、改善処置事項を厚生労働省に報告し、了承された。

2 第3回理事会の開催

以下の会議は、いずれも千鳥ヶ淵戦没者墓苑・会議室で実施された。

ア 日 時 平成22年1月22日

イ 出席者

山本卓真会長以下理事全員の出席を得て開催され、熱心な審議が行われた。

ウ 主要議題及び審議結果

① 公益法人移行・申請準備日程の前倒しについて

同認可手続の現状から、当初平成23年度の予定を、平成22年12月

に繰り上げ、それに合わせた申請準備作業日程の前倒しが、全員の賛同を得て承認された。

② 公益法人移行・最初の評議員

選定委員の選任と同委員会の運営要領について

5名の委員予定者及び運営要領が審議され、原案通り可決された。

③ 公益法人移行・新定款策定の骨子について

事業項目、評議委員会・役員構成、附則への代表理事・評議員氏名の記載等の考え方が原案通り承認された。

④ 新公益法人移行・評議員候補者推薦名簿について

事務局の第一次案が、異議なく承認された。

⑤ 役員等の人事異動について

村木鴻二理事の辞任と小田邦博氏の理事就任、杉山藩相談役の辞任と村木鴻二氏の新相談役就任、持田修評議員の辞任と内田益次郎氏の新評議員就任が、全員の賛同を得て承認された。

⑥ 給与等に関する規程の一部改定及び慰霊事業安定化資金設定・運営要領の一部修正等について

事務局の提案が、異議なく承認された。

3 第2回評議員会の開催

ア 日 時 平成22年1月27日

イ 出席者

山本卓真会長同席の下、評議員14名中12名が出席し、2名が委任状による出席となった。

ウ 主要議題及び審議結果

審議議題は、第3回理事会の審議内容と同様であり、活発な意見交換が行われ、全議案が原案通り承認された。

4 最初の評議員選任のための評議員選定委員会(第1回)の開催

(新公益法人移行業務関連)

ア 日 時 平成22年2月26日

イ 出席者

山本卓真会長同席の下、新井光雄評議員、竹之下和雄監事、平野法治賛助会員、依田智治外部委員及び五十君弘太郎外部委員の5名が参加された。

ウ 主要議題及び審議結果審議に先立ち、山本会長から挨拶があり、その後事務局から、協議会の概要、新公益法人移行の概要、当協議会の新公益法人移行のための基本方針、新定款案策定骨子(新評議員関連)、最初の評議員選定委員会設置までの経緯について説明を行った。

その後、理事会及び評議員会から提示された「最初の評議員候補者推薦名簿(第一次案)」について説明し、活発な意見交換が行われ、第一次推薦の候補者11名について、委員全員の賛成により承認された。

二 平成22年度大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭について

後掲の通り。

三 理事の交代(1月27日付け)

村木鴻二理事の辞任に伴い、後任として小田邦博氏が理事に就任した。

四 国立追悼施設建設に反対する署名活動への参加状況

全国各地からご回答をいただき、3月2日現在、362名の署名が集まっている。

五 当協議会参加団体の活動状況紹介

1 平成22年度各団体主催及び協賛慰霊行事予定(3月2日現在情報入手分のみ)

後掲の通り。

2 (財)太平洋戦争戦没者慰霊協会主催慰霊巡拝及び友好親善の旅

① サイパン・ゲーム慰霊平和祈念・友好親善交流の旅

期 日 7月19日〜24日

② ロシア・ハバロフスク慰霊平和祈念・友好親善交流の旅

期 日 8月23日〜27日

○連絡先「(財)太平洋戦争戦没者慰霊協会」事務局
〒一〇二一〇〇七六 東京都千代田区

五番町二番町パレス三〇三
電話 〇三―六二六八―九〇三七
FAX 〇三―六二六八―九〇三八

3 エラブカ東京都人会の平成22年度
遺骨収集について

当会は、例会(総会)における慰霊事業のほかに、平成22年度は、抑留総員の約3分の1(約5千名)が旧ソ連抑留初期にタンボフ州ラーダ収容所に約6カ月収容され、24名が死亡した昭和21年当時のラーダ旧日本人墓地からの日本政府遺骨収集が僅かに13体に止まったことに注視し、当会の調査結果による再遺骨収集の場所を厚労省に示し、その実施を文書を付して要請した。

会費納入のお願い

平成21年度の会費を未だ納入されていない方は、ご納付にご協力下さるようお願い申し上げます。

平成22年度大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭開催のご案内

当協議会は、参加諸団体と共に、平成22年度の「大東亜戦争全戦没者合同

慰霊祭」を、平成22年7月10日(土)靖国神社において、左記のとおり、執り行う予定です。

記

式典・昇殿参拝 12時〜 神社本殿

直会 13時30分〜 靖国会館

会員の皆様には、5月頃御案内を差し上げる予定ですが、お誘い合わせの上、御参加下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(参考)

参加費用

玉串料

直会参加料(参加者のみ)

二〇〇〇円
五〇〇〇円

新入会員及び寄附者名(敬称略)

(平成21年12月1日〜平成22年2月28日)

【賛助会員】

内田 益次郎

【寄附者】(あいいうえお順)

伊奈 作一郎 宇井 忠一
杏掛 幸子 千 玄室
竹本 佳徳 谷 敬二
西川 順芳 別府 千足
宮森 作造 山口 春治

協議会参加各団体の平成22年度慰霊行事予定(情報入手分のみ)

(年月日)	(時間)	(場所)	(慰霊行事名)
22・7・10	式典12時〜 直会13時30分〜	靖国神社 靖国会館	(財)大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 平成22年度大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭
22・10初旬	午前	陸自慰霊校内・ 雄翔園二人像前	(財)海原会 第43回予科練戦没者慰霊祭
22・4・3	14時30分〜16時	靖国神社大村 益次郎像前 靖国神社	英霊にこたえる会 第26回靖国神社の桜の花の下で「同期の桜」を歌う会 第35回全国戦没者慰霊大祭 第24回戦没者追悼中央国民集会(共催・日本会議)
22・8・15	9時〜10時 10時30分〜12時15分	靖国神社境内	エラブカ東京都人会 時期未定(厚労省に申請中)
22・11・3	11時〜14時	九段会館	エラブカ東京都人会総会 ラーダ旧日本人墓地再遺骨収集
22・4・11		ロシア連邦タンボフ州	鹿兒島借行会(協賛行事)
22・5・3			万世特攻慰霊碑慰霊祭(万世特攻慰霊碑奉賛会主催)
22・6・23頃			知覧特攻基地戦没者慰霊祭(知覧特攻慰霊顕彰会主催)
22・8・15			鹿兒島県沖繩戦没者慰霊祭(沖繩戦没者慰霊会主催)
22・10・30頃			鹿兒島県戦没者慰霊祭(護国神社奉賛会主催)
22・10・30頃			鹿兒島県戦没者追悼式(鹿兒島県主催)
22・10・30頃			鹿兒島県総合体育センター1体育館 鹿兒島県戦没者墓地(旧陸軍墓地顕揚会主催)
22・3最終日曜日			神奈川県借行会(協賛行事)
22・4			観桜慰霊祭(神奈川県戦没者慰霊堂)
22・4			神奈川県戦没者慰霊堂(平和の森奉仕会主催)
22・4			靖国神社春季例大祭(靖国神社)
22・4			神奈川県戦没者追悼式(神奈川県主催)
22・4			神奈川県戦没者慰霊堂(神奈川県戦没者慰霊堂)
22・4			神奈川県戦没者慰霊堂(同県主催)
22・4			神奈川県戦没者慰霊堂(同県主催)
22・5			神奈川県戦没者慰霊堂(同県主催)
22・5			神奈川県戦没者慰霊堂(同県主催)
22・7			靖国神社みたままつり献灯(靖国神社)
22・7			全国戦没者慰霊大祭(英霊にこたえる会主催)
22・7			戦没者追悼中央国民集会(英霊にこたえる会・日本会議共催)
22・8			靖国神社境内
22・8			靖国神社境内
22・15			靖国神社境内

		(年月日)	(時間)	(場 所)	(年月日)	(時間)	(場 所)
		(慰霊行事名)			(慰霊行事名)		
22	・ 8	・ 15		神奈川県戦没者追悼式 (神奈川県遺族会主催)	22	・ 8	・ 24
		神奈川県戦没者慰霊堂 世田谷山観音寺 靖国神社			シベリア戦没者・年次慰霊祭 ハバロフスク市・シベリア平和慰霊公園		
22	・ 9	・ 23		特攻平和観音年次法要 (特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会主催)	22	・ 9	・ 23
		靖国神社秋祭例大祭 神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式 (陸上自衛隊武山駐屯地主催)			久留米市戦没者慰霊祭 久留米市忠魂塔 山川招魂社境内		
22	・ 10	・ 18	20	千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋祭慰霊祭 (千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催)	22	・ 10	・ 18
		武山駐屯地			千鳥ヶ淵戦没者墓苑 千鳥ヶ淵戦没者墓苑 千鳥ヶ淵戦没者墓苑		
23	・ 3			特攻隊戦没者合同慰霊祭 (特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会主催)	22	・ 10	・ 19
		千鳥ヶ淵戦没者墓苑			シベリア抑留戦友会・東京ヤゴダ会 遺骨引き渡し式 千鳥ヶ淵戦没者墓苑		
22	・ 4	・ 29	11時30分～12時30分	昭和殉難法務死者追悼・年次法要	22	・ 4	・ 29
		高野山奥の院			平成22年度第44回特攻殉国者慰霊祭 長崎県川棚町新谷郷・特攻殉国の碑前庭		
22	・ 9		14時～15時	大東亜戦争戦没者・昭和殉難法務死者慰霊式並びにパール博士顕彰式	22	・ 9	・ 23
		京都護国神社 大阪護国神社			(財) 特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会 第59回特攻平和観音年次法要 第32回特攻隊戦没者合同慰霊祭 第54回音羽陸軍埋葬地慰霊祭		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	特攻勇士顕彰慰霊祭	22	・ 10	・ 26
		埼玉県護国神社			宮崎県護国神社 宮崎県護国神社 宮崎県護国神社		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	例大祭 春季例大祭 会員参拝 みたま祭	22	・ 10	・ 24
		埼玉県護国神社			都城市特攻隊戦没者慰霊祭 特別攻撃隊戦没者慰霊碑前(旧陸軍墓地)		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	特攻平和観音年次法要 (特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会主催)	22	・ 10	・ 24
		千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催			宮崎県護国神社例大祭(協賛) 宮崎県借行会総会及び合同参拝 宮崎県護国神社及び神宮会館		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋祭慰霊祭 (千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催)	22	・ 10	・ 24
		千鳥ヶ淵戦没者墓苑			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社及び神宮会館		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	特攻隊戦没者合同慰霊祭 (特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会主催)	22	・ 10	・ 24
		靖国神社			川南護国神社慰霊祭(協賛) 宮崎県護国神社奉祝祭(協賛)		
22	・ 10	・ 24	11時～15時	特攻隊戦没者合同慰霊祭 (特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会主催)	22	・ 10	・ 24
		伊良湖岬慰霊碑前			宮崎県護国神社陸軍記念日慰霊祭(協賛)		
22	・ 11	・ 3	13時	全国海洋戦没者伊良湖岬慰霊碑奉賛会 慰霊碑追悼式	22	・ 11	・ 3
		伊良湖岬慰霊碑前			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
22	・ 11	・ 3	13時	全国海洋戦没者伊良湖岬慰霊碑追悼式	22	・ 11	・ 3
		伊良湖岬慰霊碑前			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
22	・ 6	・ 15	10時	常陸丸殉難慰霊祭(各自任意)	22	・ 6	・ 15
		靖国神社前庭常陸丸記念碑前			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
22	・ 6	・ 15	10時	常陸丸殉難慰霊祭(各自任意)	22	・ 6	・ 15
		靖国神社前庭常陸丸記念碑前			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
23	・ 1	・ 29	13時	靖国神社昇殿参拝(各自任意)	23	・ 1	・ 29
		靖国神社			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
23	・ 1	・ 29	13時	靖国神社昇殿参拝(各自任意)	23	・ 1	・ 29
		靖国神社			宮崎県護国神社慰霊祭 宮崎県護国神社		
23	・ 2	・ 3	11時(集合10時40分)	ビルマ方面戦没者慰霊祭 ミャンマー戦跡慰霊巡拝団 ミャンマー・ヤンゴン日本人墓地その他各巡拝先	23	・ 2	・ 3
		靖国神社			子科練雄飛会 陸士五十七期同期生会		
23	・ 2	・ 3	11時(集合10時40分)	ビルマ方面戦没者慰霊祭 ミャンマー戦跡慰霊巡拝団 ミャンマー・ヤンゴン日本人墓地その他各巡拝先	23	・ 2	・ 3
		靖国神社			子科練雄飛会 陸士五十七期同期生会		
23	・ 2	・ 3	11時(集合10時40分)	ビルマ方面戦没者慰霊祭 ミャンマー戦跡慰霊巡拝団 ミャンマー・ヤンゴン日本人墓地その他各巡拝先	23	・ 2	・ 3
		靖国神社			子科練雄飛会 陸士五十七期同期生会		